

6月定例議会での高橋議員の一般質問の要旨をお知らせします。

# 教育費の 保護者負担を軽く！



## 就学援助制度の改善を

高橋 就学援助における準要保護者の認定基準の引き上げを

いま、リストラや給与の減少、倒産などの影響で、全国でも羽村でも生活保護や就学援助を受ける家庭は年々増加しています。足立区の就学援助の受給率が04年度、42.5%と新聞等で報じられ、子育て世代の経済状況の厳しさが浮き彫りになりました。

04年度、東京都の就学援助の受給率は平均で24.8%、羽村市は15.4%です。

就学援助の制度は、自治体ごと、違いがあります。羽村市は所得が認定の基準になっていますが、生活保護基準の1.0倍の家庭だけしか就学援助が受けられません。

足立区は生活保護基準の1.1倍です。1.5倍まで、就学援助を受けることができる自治体もあります。1.0倍という基準は、東京では、他に1市だけです。

羽村市は、就学援助の認定基準の大幅な引き上げをすべきではないでしょうか。

教育長 羽村の受給者数は、00年度と04年度の比較では467人から742人と、275人の増加となっています。今後も、現行の基準を維持していく考えです。

高橋 就学援助費の支給内容の引き上げを

就学援助費の支給内容もいろいろです。羽村市は国基準ということですが、学用品費や入学準備金など実情にそって、支給内容の引き上げを行うべきではないでしょうか。

教育長 現行の就学援助の交付種目は国の支給対象種目と同様に、学用品費・通学用品費、新入学用品費、給食費、修学旅行費、移動教室費、校外活動費を対象としています。

今後も、現状の交付種目で対応していく考えです。

高橋 就学援助が受けやすいように「お知らせ」などの改善を

学用品費・入学準備金・郊外活動費・給食費・医療費など援助される項目や金額などについて、「お知らせ」で明記するなど、改善すべきではないでしょうか。

教育長 配布のお知らせ版の中で、学用品費、給食費、校外活動費など主な種目を明記しています。補助金額の明記については、学用品費などは国の基準額を明記することは出来ませんが、修学旅行費などは参加するために直接必要な経費で、保護者が負担した実費額を基準に算定するので、明記することは難しいと考えます。教育委員会としては、保護者にわかりやすい資料提供に努めていく考えです。



2006年7月23日 No.809  
発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市議団のホームページ  
<http://www.jcphamura.org/>  
市議団控室 電話/FAX 579-1163

\* 無料法律相談 毎月行っています。予約が必要です。市議団にご連絡ください

## 高校入学時奨学金の拡充を、など

高橋 高校入学時奨学金は、現在6万円ですが大幅に引き上げを

公立高校の授業料は全日制で年額11万円を超え、初年度納入金は平均で30万円かかるそうです。高校入学時奨学金の拡充をすべきではありませんか。

教育長 奨学金制度は、1982年度に創設され、給付金は3万円で、1990年度に5万円とし、1993年度より現在の6万円に改正してきました。今後も、他の自治体等の動向を踏まえ、必要に応じて対応を図っていきたいと考えています。

高橋 高校入学時奨学金は受給者が少ないので、受けやすいように改善を

高校入学時奨学金は、受給者が意外と少ない。お知らせの配布の仕方だとか、学校便りにも記載するとか、検討し改善をして頂きたい。

教育長 現行の受給資格は、「前年の収入額が生活保護基準の2倍以内で、市税を完納していること」で、受給しやすい要件です。現状の受給資格要件を維持していく考えです。

高橋 東京都育英資金・高校奨学金の予約募集を行っていますが、応募しやすいように、生徒にお知らせをすべきではないか

いま、高校生とその親が、高い授業料に苦しんでおり、高校の授業料滞納者が増えています。滞納理由は「リストラ、失業、倒産」「もともと減免対象すれすれの家計収入」というのが多いそうです。高校奨学金は、家計収入が少ない者にとって、教育の場を保障する大事な制度です。応募しやすいように知らせて、ということです。

教育長 予約募集については翌年4月に高等学校又は専修学校高等課程に進学を希望している中学3年生を対象とし、財団法人東京都私学財団が実施しています。教育委員会としては、本制度を理解し、活用してもらうため、ポスターの掲示、広報はむらへ掲載し、周知を図っています。各学校でも、ポスターの掲示、3年生を対象とした「学年だより」へ掲載するとともに、進路指導の際に必要な応じ説明等行っています。

## 修学旅行補助金の増額を

子育て世代の家計が厳しくなっています。しかし、中学校の修学旅行の補助金は毎年のように減らされ、今年度は2万円になってしまいました。

高橋 中学校の修学旅行の補助金を、3万3千円に戻すべきではないでしょうか。

教育長 行政改革の取り組みの中で、他市と比較して高い修学旅行の補助金を段階的に引き下げ今年度2万円にしたが、今後は、この金額を維持していきたいと考えています。

高橋 小学校の修学旅行の補助金の増額をすべきではないでしょうか。

教育長 現在、8千円を支給しており、現行の補助金を維持していく考えです。今後も、他市の補助金制度の状況を勘案しながら、適正に判断していきたいと考えています。



鈴木たくや

羽村市議会を傍聴しました...私の家でも今年度から小学生が2人になりました。義務教育は無償といいますが、結構、出費があります。小泉内閣の構造改革で経済格差が広がっていますが、教育に格差を持ち込んではいけません。教育費の保護者負担を軽くするため私も頑張ります。